



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月28日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7241 URL <https://www.futabasangyo.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）久恒 季之
 問合せ先責任者（役職名）経理部長（氏名）小林 佳弘（TEL）0564-31-2211
 半期報告書提出予定日 2026年11月9日 配当支払開始予定日 2026年11月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	351,559	6.7	7,867	△8.6	6,974	△20.6	4,547	△28.8
2026年3月期中間期	329,478	△5.7	8,607	58.1	8,786	146.4	6,390	302.4

（注）包括利益 2027年3月期中間期 3,744百万円（△55.9％） 2026年3月期中間期 8,498百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	50.92	—
2026年3月期中間期	71.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	332,188	147,204	42.3
2026年3月期	334,332	145,851	41.5

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 140,524百万円 2026年3月期 138,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2027年3月期	—	22.00			
2027年3月期（予想）			—	23.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	713,000	5.2	18,000	△3.8	17,000	△18.4	12,000	△25.1	134.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) FUTABA MANUFACTURING MAHARASHTRA PRIVATE LIMITED 、除外 — 社 (社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	89,580,827株	2026年3月期	89,580,827株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	256,524株	2026年3月期	277,783株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	89,311,850株	2026年3月期中間期	89,502,693株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(中間連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループにおいては、企業価値の向上を目指すに当たり、営業利益率、ROE(自己資本当期純利益率)を重要な経営指標と位置づけ、その向上に取り組んでおります。その一環として、2025～2027年度までを計画期間とする中期経営計画の目標として、2027年度営業利益率(対支給品を除く売上高)5.0%及びROE10.0%以上を設定しております。2025年度から2027年度の中期経営計画は、成長投資の期間と位置付け、2030年におけるグローバルでの安定的成長を見据えた活動を進めてまいります。中長期的な重要課題として、以下の取り組みを推進していきます。

- ①成長戦略
 - ・ボデー系部品事業：売上拡大に向けた開発・能力向上
 - ・排気系部品事業：電動化ニーズに合わせた新たなシステム開発
 - ・新規事業：開発を加速し早期事業化
 - ・インド事業：成長市場での拠点拡大と事業基盤強化
- ②稼ぐ力
 - ・営業利益率(対支給品を除く売上高)5.0%を目指した活動強化
- ③人材
 - ・全員活躍、社員の働きがい向上
 - ・健康経営
- ④カーボンニュートラル
 - ・グローバル：工場のCO2排出量 2030年度(2019年度比) △50%以上削減
 - ・日本：2030年カーボンニュートラル達成にチャレンジ
- ⑤財務資本戦略
 - ・PBR向上にむけた資本コストや株価を意識した経営

これらをもとに、グローバルで経営・収益基盤をさらに充実させるとともに、デジタル化とものづくりのイノベーションにリソースを投入し、強固で持続可能なグローバル企業を目指し、努力してまいります。

当中間連結会計期間の業績は、売上高につきましては、支給品単価の上昇や為替影響等により3,515億円(前年同期比6.7%増)となりました。利益につきましては、合理化改善や価格転嫁の実施等があったものの、中国セグメントにおける減収減益の影響等により、営業利益は78億円(前年同期比8.6%減)、経常利益は69億円(前年同期比20.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は45億円(前年同期比28.8%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

得意先の自動車生産台数の増加等により、売上高は1,628億円(前年同期比3.4%増)となりました。セグメント利益は34億円(前年同期比9.6%増)となりました。

②北米

売上高は980億円(前年同期比10.9%増)となりました。合理化改善、価格転嫁の実施等により、セグメント利益は32億円(前年同期比9.7%増)となりました。

③欧州

売上高は334億円(前年同期比11.8%増)となりました。セグメント利益は0億円(前年同期比91.5%減)となりました。

④中国

売上高は211億円(前年同期比35.7%減)となりました。セグメント利益は1億円(前年同期比87.5%減)となりました。

⑤アジア

売上高は420億円(前年同期比63.7%増)となりました。セグメント利益は9億円(前年同期比227.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産については、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べて21億円減少し、3,321億円となりました。負債については、買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて34億円減少し、1,849億円となりました。純資産については、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて13億円増加し、1,472億円となりました。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,384	19,085
電子記録債権	4,290	3,635
売掛金	83,996	83,418
製品	5,480	5,353
仕掛品	15,663	20,112
原材料及び貯蔵品	8,001	8,044
その他	14,480	11,807
流動資産合計	153,298	151,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,424	35,168
機械装置及び運搬具(純額)	53,719	47,774
工具、器具及び備品(純額)	13,971	11,785
土地	15,119	15,143
リース資産(純額)	3,194	3,208
建設仮勘定	17,618	24,696
有形固定資産合計	139,048	137,776
無形固定資産	1,947	2,511
投資その他の資産		
投資有価証券	24,195	24,608
長期貸付金	33	32
退職給付に係る資産	14,370	14,452
繰延税金資産	1,107	1,037
その他	337	317
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	40,039	40,443
固定資産合計	181,034	180,730
資産合計	334,332	332,188

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	2,056	2,021
買掛金	79,552	74,901
短期借入金	9,603	13,246
1年内返済予定の長期借入金	12,096	9,822
未払法人税等	2,482	2,441
未払消費税等	1,737	1,327
役員賞与引当金	56	16
未払費用	15,942	17,015
その他	14,723	14,075
流動負債合計	138,249	134,869
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	25,952	26,220
繰延税金負債	9,910	9,411
製品保証引当金	284	287
環境対策引当金	153	153
解体撤去引当金	503	503
退職給付に係る負債	4,576	4,755
その他	2,850	2,783
固定負債合計	50,231	50,114
負債合計	188,481	184,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,820	16,820
資本剰余金	9,219	9,220
利益剰余金	74,241	76,734
自己株式	△251	△231
株主資本合計	100,030	102,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,362	12,526
為替換算調整勘定	18,825	18,158
退職給付に係る調整累計額	7,666	7,295
その他の包括利益累計額合計	38,854	37,980
非支配株主持分	6,966	6,679
純資産合計	145,851	147,204
負債純資産合計	334,332	332,188

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	329,478	351,559
売上原価	305,610	327,748
売上総利益	23,867	23,811
販売費及び一般管理費	15,259	15,944
営業利益	8,607	7,867
営業外収益		
受取利息	204	238
受取配当金	315	343
作業くず売却益	108	188
持分法による投資利益	20	34
雑収入	232	410
営業外収益合計	881	1,215
営業外費用		
支払利息	395	531
固定資産廃棄損	107	271
為替差損	15	567
デリバティブ評価損	72	-
事業構造改善費用	-	653
雑損失	111	84
営業外費用合計	702	2,108
経常利益	8,786	6,974
特別利益		
関係会社清算益	550	-
特別利益合計	550	-
税金等調整前中間純利益	9,336	6,974
法人税等	2,201	2,267
中間純利益	7,135	4,707
非支配株主に帰属する中間純利益	744	159
親会社株主に帰属する中間純利益	6,390	4,547

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	7,135	4,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,241	163
為替換算調整勘定	492	△925
退職給付に係る調整額	△336	△371
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	169
その他の包括利益合計	1,362	△962
中間包括利益	8,498	3,744
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,664	3,672
非支配株主に係る中間包括利益	833	71

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(中間連結損益計算書関係)

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当中間連結会計期間において、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)第7項の定めを適用しているため、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	152,591	88,371	29,939	32,910	25,664	329,478	—	329,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,951	28	1	1	4	4,987	△4,987	—
計	157,543	88,400	29,941	32,911	25,668	334,465	△4,987	329,478
セグメント利益	3,188	2,925	648	1,563	302	8,628	△20	8,607

(注) 1 セグメント利益の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	156,988	97,937	33,482	21,145	42,005	351,559	—	351,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,844	136	0	17	6	6,007	△6,007	—
計	162,833	98,074	33,483	21,163	42,011	357,566	△6,007	351,559
セグメント利益	3,496	3,208	55	195	987	7,943	△75	7,867

(注) 1 セグメント利益の調整額△75百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2027年3月期 第2四半期 決算参考資料

1. 連結業績

	当期 (2026. 4～2026. 9)		前期 (2025. 4～2025. 9)		増減	増減率
		比率		比率		
売上高 (支給品込み)	351, 559		329, 478		22, 081	6. 7%
(支給品除く)	224, 093	(100. 0%)	218, 926	(100. 0%)	5, 167	2. 4%
営業利益	7, 867	(3. 5%)	8, 607	(3. 9%)	△ 740	△8. 6%
経常利益	6, 974	(3. 1%)	8, 786	(4. 0%)	△ 1, 811	△20. 6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4, 547	(2. 0%)	6, 390	(2. 9%)	△ 1, 843	△28. 8%
1株当たり当期純利益	50円92銭		71円40銭			
設備投資(検収ベース)	13, 302		12, 797		505	3. 9%
減価償却費	12, 874		10, 767		2, 107	19. 6%
為替レート(1USドル)	159. 4円		146. 0円			

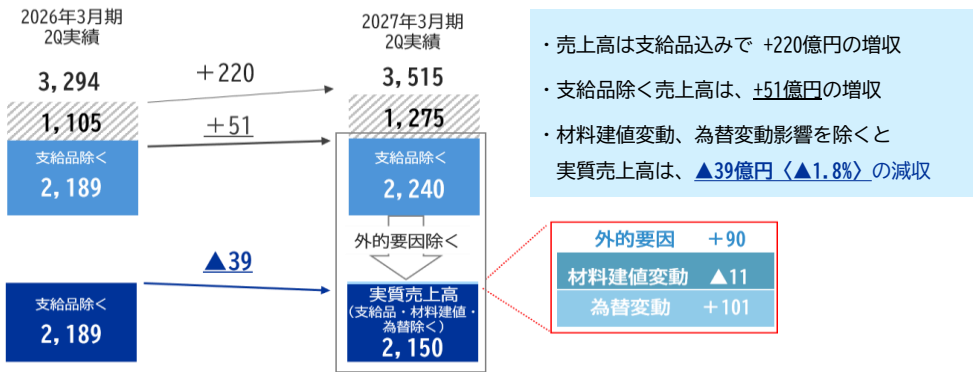
(注1) ()内は支給品除く売上高比率を表示

(単位： 百万円)

通期予想 (2026. 4～2027. 3)		前期比 増減	増減率
	比率		
713, 000		35, 080	5. 2%
455, 000	(100. 0%)	8, 842	2. 0%
18, 000	(4. 0%)	△ 715	△3. 8%
17, 000	(3. 7%)	△ 3, 840	△18. 4%
12, 000	(2. 6%)	△ 4, 026	△25. 1%
134円36銭			
35, 000		6, 686	23. 6%
28, 000		4, 343	18. 4%
155円			

※売上高 前期比増減について補足説明

■ 売上高(支給品除く) // 支給品金額 単位： 億円



- ・支給品とは
得意先から有償支給される触媒等の部品。
支給品を含む製品の売価には、支給品額が
含まれており、利益影響はない。
- ・材料建値変動とは
市況の変動により、材料の仕入れ単価と
売価のうち、材料費分が同額変動すること。
売上と原価が同額変動するので、
利益影響はない。
- ・為替変動とは
海外子会社の財務数値を円換算する際、
前期と当期の為替レートの差分、売上等が
変動すること。

2. 営業利益増減要因(対前期比)

(単位： 億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
価格転嫁	45	材料費・労務費・経費の増	△ 31
合理化改善	15	減価償却費の増	△ 21
部品事業以外の利益の増	1	売価変動	△ 9
		部品事業売上減による利益の減	△ 8
計	61	計	△ 69
差引	営業利益の減		△ 7

3. セグメント別業績

(単位： 百万円)

		当期 (2026. 4～2026. 9)		前期 (2025. 4～2025. 9)		増減	増減率
			利益率		利益率		
日本	売上高 (支給品除く)	109, 206		102, 895		6, 311	6. 1%
	営業利益	3, 496	3. 2%	3, 188	3. 1%	307	9. 6%
北米	売上高 (支給品除く)	74, 774		67, 800		6, 974	10. 3%
	営業利益	3, 208	4. 3%	2, 925	4. 3%	283	9. 7%
欧州	売上高 (支給品除く)	19, 389		18, 716		673	3. 6%
	営業利益	55	0. 3%	648	3. 5%	△ 593	△91. 5%
中国	売上高 (支給品除く)	17, 128		25, 836		△ 8, 707	△33. 7%
	営業利益	195	1. 1%	1, 563	6. 1%	△ 1, 367	△87. 5%
アジア	売上高 (支給品除く)	9, 602		8, 666		935	10. 8%
	営業利益	987	10. 3%	302	3. 5%	685	227. 0%
消去	売上高	△ 6, 007		△ 4, 987		△ 1, 019	
	営業利益	△ 75		△ 20		△ 55	
合計	売上高 (支給品除く)	224, 093		218, 926		5, 167	2. 4%
	営業利益	7, 867	3. 5%	8, 607	3. 9%	△ 740	△8. 6%

通期予想 (2026. 4～2027. 3)		前期比 増減	増減率
	利益率		
* 229, 000		17, 069	8. 1%
9, 000	3. 9%	661	7. 9%
* 149, 000		13, 174	9. 7%
6, 200	4. 2%	2, 424	64. 2%
40, 000		△ 2, 686	△6. 3%
* 1, 000	2. 5%	△ 1, 180	△54. 1%
* 33, 000		△ 16, 565	△33. 4%
* 0	0. 0%	△ 3, 027	△100. 0%
* 19, 000		1, 167	6. 5%
* 1, 900	10. 0%	632	49. 9%
* △ 15, 000		△ 3, 317	
* △ 100		△ 224	
* 455, 000		8, 842	2. 0%
* 18, 000	4. 0%	△ 715	△3. 8%

(注) *は前回公表値からの修正有を示す

2027年3月期 第2四半期 決算参考資料

4. 得意先別売上高

支給品込み						
	当期 (2026.4～2026.9)		前期 (2025.4～2025.9)		増減	増減率
トヨタグループ	2,716	77.3%	2,707	82.2%	8	0.3%
スズキ	408	11.6%	269	8.2%	138	51.5%
三菱自動車	132	3.8%	91	2.8%	40	44.0%
日産グループ	56	1.6%	48	1.5%	8	17.5%
本田技研	33	1.0%	39	1.2%	△5	△13.1%
その他	168	4.7%	139	4.1%	29	21.0%
合計	3,515	100.0%	3,294	100.0%	220	6.7%

支給品除く				(単位： 億円)	
当期 (2026.4～2026.9)		前期 (2025.4～2025.9)		増減	増減率
1,901	84.8%	1,881	86.0%	19	1.0%
110	4.9%	102	4.7%	7	7.8%
57	2.5%	51	2.4%	5	10.3%
43	1.9%	35	1.6%	7	20.8%
29	1.3%	30	1.4%	△1	△5.1%
100	4.6%	87	3.9%	13	15.1%
2,240	100.0%	2,189	100.0%	51	2.4%

5. 製品別売上構成比率

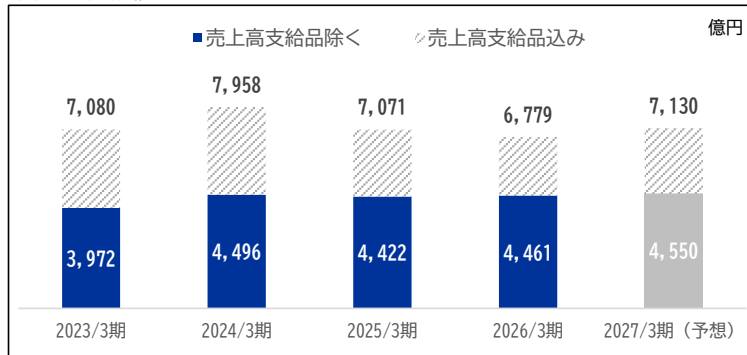
	売上高 (支給品込み)	売上高 (支給品除く)	差
排気系/燃料系	49.0%	29.0%	△20.0pt
ボデー/内装部品	41.9%	58.3%	+16.4pt
足回り部品	5.1%	6.8%	+1.7pt
その他	4.0%	6.0%	+2.0pt
合計	100.0%	100.0%	0.0pt

支給品込み売上高と支給品除く売上高の
製品別売上構成比率を比較すると

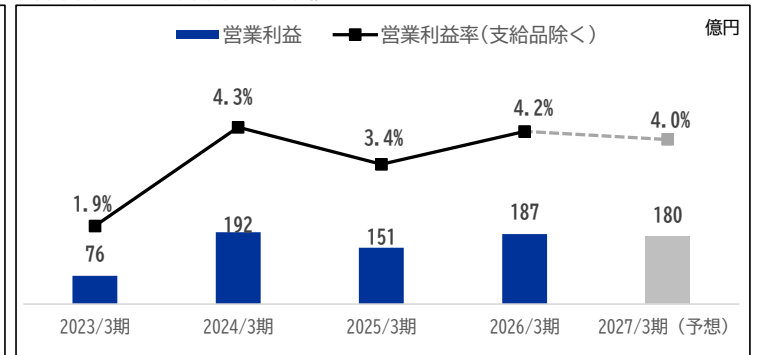
排気系/燃料系部品 49.0% → 29.0% (△20.0pt)
ボデー/内装部品 41.9% → 58.3% (+16.4pt)

6. 業績推移

(1) 売上高推移

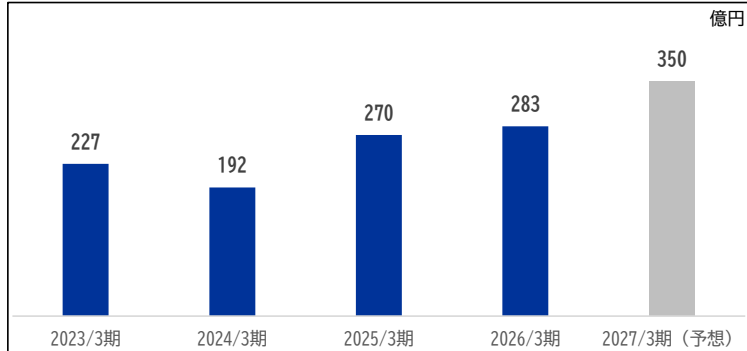


(2) 営業利益及び営業利益率推移

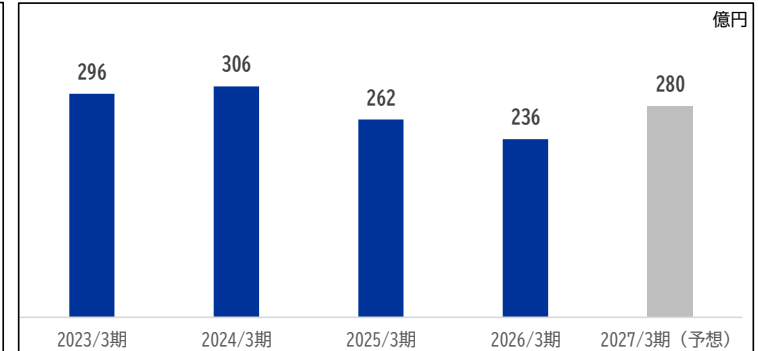


7. 財務指標推移

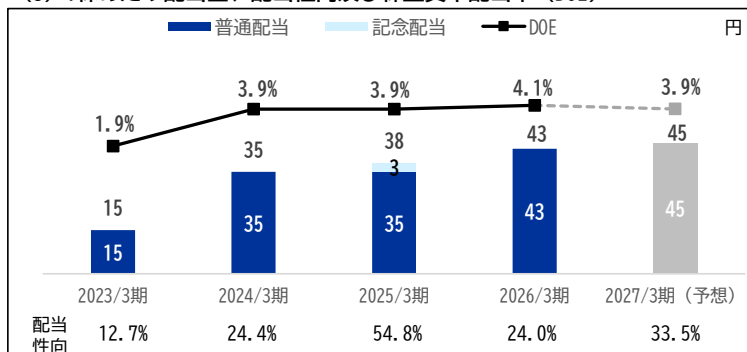
(1) 設備投資推移



(2) 減価償却費推移



(3) 1株あたり配当金、配当性向及び株主資本配当率(DOE)



(4) 親会社株主に帰属する当期純利益及び自己資本当期純利益率(ROE)

